

# 業務部速報



No. 90

発行 25. 12. 17

JR東労組 業務部

## 申5号 「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について(その2)」に関する申し入れ 第4回団体交渉(12/16)②

### 【賃金制度の見直し】

●組合 ■会社

9. 業務手当(基本)に、以下の内容に変更および追加すること。
- (1) 鉄道オペレーションの勤務の特性にある「定例的に深夜帯に勤務する社員」を「定例的に深夜帯および準深夜帯に勤務する社員」に変更すること。
  - (2) 運転取扱業務に「ワンマン列車を乗務する社員」を追加すること。また、鉄道オペレーション内の内容と併給すること。
  - (3) 運転取扱業務に「信号業務を行う社員」を追加すること。また、鉄道オペレーション内の内容と併給すること。
  - (4) 鉄道オペレーションに「③主に接客に伴う業務」を追加すること。
  - (5) 企画戦略に「総務関係(事務関係)社員」を追加すること。



- 修正提案で、業務手当(基本)が一律15,000円となったが、労働の特性と特殊性を堅持するべきだ!
- 列車運行に伴う業務は、24時間作業する! 準深夜帯に業務する特性を踏まえて措置するべきだ!
- ワンマン列車は、運転士が車掌業務を担うほかに、運転中のトラブルなど全て一人に対応している!
- 信号業務が少なくなる中、夜間作業の承認など命を守る業務である!
- 接客業務は、サービス品質向上のために欠かせない! 知識や経験が重要である!
- 事務関係業務は、さまざまな社員をサポートしながら日々業務を行っている! 職場では母親的な存在だ!



- 勤務の特性を踏まえて一律15,000円とする
- 人手不足・労働力不足の中で、深夜帯の業務を嫌がる人は増えている
- 深夜帯などで働く業務への措置は、特定割増賃金で措置する
- 一律にして誰でも担うことが出来るように措置するものだ
- 現在ワンマン加給されているが、それぞれの業務での負担や緊張感がある。他の業務との優劣ではない

### ●ワンマン加給がなくなることへの、不平・不満の声が多数だ! ワンマン列車の緊張感は計り知れない!

- 中編成ワンマン導入に伴い運転時分の遅れなどの課題もあり苦勞を掛けた。ワンマン導入の大きな変化点で苦勞はあるワンマン加給はなくなり、乗務員の思いは受け止める
- 個々の仕事に対して、それぞれの教育や本人の適正は必要である
- 信号業務の特性は業務手当で見ていく
- 出札や改札等の駅業務に就く社員に対しては、修正提案で措置をする。修正前は5,000円か10,000円だったが、15,000円とした
- 接客業務は、知識や経験が大事である
- 各業務にスポットを当てた結果、全てが明るくなった
- 個々の仕事に対する特性などがなくなったわけではない
- JR発足時から様々な手当がある中でスタートしてきた。特性などについては特定の仕事だけにあるわけではない

- 各系統の労働の特性と特殊性を踏まえた手当とするべきだ!
- 組合員の不平・不満の声を受け止め、会社として再検討するべきだ!
- 労働に対する責任感や誇りを持つことは重要であり、各系統の知識や経験が重要であること、個々の仕事に対する特性などがなくなったわけではないことは確認!